



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)



2025年11月7日

上場会社名 リスクモンスター株式会社

上場取引所 東

コード番号 3768 URL <https://www.riskmonster.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 太一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 吉田 麻紀

TEL 03-6214-0331

半期報告書提出予定日 2025年11月12日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,890	2.1	176	49.1	185	51.1	127	—
2025年3月期中間期	1,852	2.3	118	21.4	122	13.7	1,190	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 203百万円 (—%) 2025年3月期中間期 971百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	17.00	16.99
2025年3月期中間期	160.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	7,187	6,152	84.1	794.30
2025年3月期	7,139	5,982	82.4	788.06

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 6,047百万円 2025年3月期 5,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2026年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円50銭 記念配当 0円50銭

配当予想の修正については、本日(2025年11月7日)に公表いたしました「配当予想の修正(増配及び創立25周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,900	4.6	380	43.9	380	31.1	210	—
								27.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	7,636,922 株	2025年3月期	7,636,922 株
2026年3月期中間期	23,268 株	2025年3月期	173,268 株
2026年3月期中間期	7,525,129 株	2025年3月期中間期	7,398,452 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 中間連結貸借対照表	8
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	10
中間連結損益計算書	10
中間連結包括利益計算書	11
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
3. 補足情報	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、インバウンド需要の回復や経済活動の正常化の進展により緩やかな回復基調で推移しました。一方で、為替変動や物価上昇、人手不足、国際情勢の不安定化等、先行き不透明な要因も残り、企業のサービス選別は一段と厳しさを増しています。

このような環境のもと、当社グループは2021年度に策定した長期ビジョン「RismonG-30」と、その達成に向けたマイルストーンである「第8次中期経営計画(2024~2025年度)」の基本方針に沿い、主力の与信管理サービスを軸とした事業強化と、企業リスク管理文化の社会浸透に向けた取り組みを進めてまいりました。

当中間連結会計期間は、次の3つの重点領域において施策を実施しました。

①サービス拡充・DX推進

- ・「RM登記簿調査レポート」提供開始(4月)
- ・「反社チェック個人検索」機能提供開始(4月)
- ・「リスモン業種別審査ノート」Webアプリ版提供開始(5月)
- ・「下請法」改正や「フリーランス法」に対応したeラーニングコース提供開始(6月)
- ・「RM中国企業コンプラチェックレポート」提供開始(9月)

②顧客支援・連携強化

- ・株式会社fundbookが「リスモンA I 与信管理PDF」を利用開始(4月)
- ・ネットビジネスサポート株式会社と業務提携(7月)
- ・営業リスト作成サービス「攻めモンスター」リニューアル(7月)

③社会的発信・ブランド価値向上

- ・4月4日「リスモン与信の日」制定(4月)
- ・リスモン調べの発表
 - 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果(4月)
 - 「賃金引上げに関するアンケート」調査結果(5月)
 - 「就職したい企業・業種ランキング」調査結果(5月)
 - 「中国企業の倒産～日本企業と比較～」レポート(5月)
 - 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」調査結果(6月)
 - 「中国企業の決算・財務分析～日本企業との比較～」レポート(7月)
 - 「コンプライアンスチェックに関する意識」調査結果(7月)
 - 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」調査結果(8月)
 - 「若手社員の仕事・会社に対する満足度」調査結果(9月)
- ・リスモン業界レポートの発表
 - 「設備工事業」(4月)
 - 「職別工事業(設備工事業を除く)」(5月)
 - 「不動産取引業」(6月)
 - 「不動産賃貸・管理業」(7月)
 - 「物品賃貸業」(8月)

これらの施策により、会員基盤の拡大と、与信管理・コンプライアンス領域における認知度向上を実現しました。当中間連結会計期間末の会員数は14,710会員と、前中間連結会計期間末から454会員増加しております。

<連結業績について>

当中間連結会計期間の業績は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		前年 同期比 (%)
		対売上比 (%)		対売上比 (%)	
売上高(千円)	1,852,141	100.0	1,890,892	100.0	102.1
営業利益(千円)	118,597	6.4	176,881	9.4	149.1
経常利益(千円)	122,851	6.6	185,666	9.8	151.1
親会社株主に帰属する 中間純利益又は親会社 株主に帰属する中間純 損失(△)(千円)	△1,190,532	△64.3	127,897	6.8	—

	前中間連結会計期間末	当中間連結会計期間末	増減数
会員数合計(注)	14,256	14,710	454

(注) 会員数は登録IDベースで算出しております。

なお、上記においては当社グループの各サービスに重複登録している会員が一部おります。

(売上高)

売上高は、1,890,892千円(前年同期比102.1%)と堅調に推移しました。法人会員向けビジネスはほぼ前期並みでしたが、BPOサービス事業が着実に進捗し全体では増収となりました。

(利益)

営業利益は、176,881千円(前年同期比149.1%)、経常利益は185,666千円(前年同期比151.1%)と、大幅な増益となりました。これは、与信管理サービス事業の固定費圧縮による利益率改善及びシステム増強やデータ取得効率化の効果によるものです。親会社株主に帰属する中間純利益は127,897千円となり、前年同期の損失(△1,190,532千円)から黒字転換いたしました。

なお、前期に計上した株式会社東京商工リサーチとの訴訟関連損失については、2025年3月に東京高等裁判所の調停により終結し、解決金1億円の支払いをもって紛争の一切を解決しております。これにより、前期に計上した特別損失の影響は解消しました。

(会員数合計)

会員数は14,710会員と増加しました。

<セグメント別の業績について>

当社グループは、与信管理サービス事業を中核とし、ビジネスポータルサイト事業(グループウェアサービス等)、教育関連事業(eラーニングサービス等)を法人会員向けビジネスとして、また、BPOサービス事業(デジタルデータ化サービス等)及び海外展開を軸とするその他事業を、その他ビジネスとして展開しております。

当社グループのセグメントを、1. 法人会員向けビジネスと2. その他ビジネスに分類した業績は、次のとおりであります。なお、セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

1. 法人会員向けビジネス

法人会員向けビジネスに含まれるセグメントは、ア) 与信管理サービス事業、イ) ビジネスポータルサイト事業及び ウ) 教育関連事業であります。

法人会員向けビジネスの業績は、次のとおりであります。

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
法人会員向けビジネス売上高合計(千円)	1,390,074	1,389,013	99.9
法人会員向けビジネス利益合計(千円)	235,994	270,162	114.5

会員数	前中間 連結会計期間末	当中間 連結会計期間末	増減数
法人会員向けビジネス会員数合計	13,769	14,185	416

法人会員向けビジネスの各セグメントの業績は、次のとおりであります。

ア) 与信管理サービス事業について

与信管理サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス(千円)	780,297	788,597	101.1
コンサルティングサービス売上高合計(千円)	199,850	195,453	97.8
売上高合計(千円)	980,148	984,051	100.4
セグメント利益(千円)	119,251	172,786	144.9

会員数	前中間 連結会計期間末	当中間 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス(注)	7,744	8,072	328

(注) サービス相互提携を行う会員を含む

当中間連結会計期間の与信管理サービス事業の売上高の合計は984,051千円(前年同期比100.4%)、セグメント利益は172,786千円(前年同期比144.9%)となりました。

コンサルティングサービスの利用が減少したものの、会員数は増加し、また、与信判断ツール「eー与信ナビ」及び反社チェックサービスの利用が順調だったこと等から増収となりました。

セグメント利益は、売上高が増加したこと、サービスシステム増強及び独自データベースの充実を図るため企業情報取得の強化を継続しているものの、前期末に今後の使用見込みがなくなった固定資産を除却し固定費が圧縮されたこと、その他のコストも抑えられていることから前年同期を上回りました。

イ) ビジネスポータルサイト事業(グループウェアサービス等)について

ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス(千円)	282,204	294,899	104.5
その他(千円)	16,312	17,230	105.6
売上高合計(千円)	298,517	312,130	104.6
セグメント利益(千円)	100,079	92,995	92.9

会員数	前中間 連結会計期間末	当中間 連結会計期間末	増減数
ビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等) (注)	3,059 (146,250)	3,034 (145,473)	△25 (△777)

(注) () は外数でユーザー数

当中間連結会計期間のビジネスポータルサイト事業(グループウェアサービス等)の売上高の合計は、312,130千円(前年同期比104.6%)、セグメント利益は92,995千円(前年同期比92.9%)となりました。

5月に実施した料金改定に伴い基本料金及びユーザー利用料が増加し増収となりましたが、仕入原価の増加やサービス増強費用によりセグメント利益は前年同期を下回りました。

ウ) 教育関連事業について

教育関連の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
教育関連売上高合計(千円)	111,409	92,831	83.3
セグメント利益(千円)	16,663	4,380	26.3

会員数	前中間 連結会計期間末	当中間 連結会計期間末	増減数
教育関連	2,966	3,079	113

当中間連結会計期間の教育関連事業の売上高は92,831千円(前年同期比83.3%)、セグメント利益は4,380千円(前年同期比26.3%)となりました。

会員数は増加したものの、定額制サービスやお客様の個別のニーズに合わせてカスタマイズするサービスが低調だったことに伴い、売上高、セグメント利益ともに前年同期を下回りました。

2. その他ビジネス

その他ビジネスに含まれるセグメントは、エ) BPOサービス事業及び オ) その他サービスであります。

その他ビジネスの業績は、次のとおりであります。なお、中国における与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、525会員となりました。

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
その他ビジネス売上高合計(千円)	663,745	688,962	103.8
その他ビジネス利益合計(千円)	6,197	17,107	276.0

その他ビジネスの各セグメントの業績は、次のとおりであります。

エ) BPOサービス事業について

BPOサービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
BPOサービス売上高合計(千円)	471,717	508,594	107.8
セグメント利益(千円)	824	11,811	—

当中間連結会計期間のＢＰＯサービス事業の売上高は508,594千円（前年同期比107.8%）、セグメント利益は11,811千円（前年同期はセグメント利益824千円）となりました。

新規の案件が積み上がったこと等から、増収増益となりました。

オ) その他サービスについて

その他サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	前年同期比 (%)
その他サービス売上高合計（千円）	192,027	180,368	93.9
セグメント利益（千円）	5,373	5,295	98.5

当中間連結会計期間のその他サービスの売上高は180,368千円（前年同期比93.9%）、セグメント利益は5,295千円（前年同期比98.5%）となりました。

グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）は、中国における信用調査レポートの受注残の納品が進んだものの、前期発生したスポットの特殊調査の受注が減少したことにより減収となりましたが、仕入原価の単価変更により利益率が改善しセグメント利益はほぼ前期並みとなりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

		前連結会計年度	当中間 連結会計期間	増減額
	流動資産（千円）	2,567,213	2,454,779	△112,433
	固定資産（千円）	4,572,049	4,732,981	160,932
資産合計（千円）		7,139,262	7,187,760	48,498
	流動負債（千円）	859,188	678,703	△180,484
	固定負債（千円）	297,898	356,876	58,977
負債合計（千円）		1,157,086	1,035,579	△121,507
純資産（千円）		5,982,175	6,152,181	170,005
負債純資産合計（千円）		7,139,262	7,187,760	48,498

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ112,433千円減少し、2,454,779千円となりました。これは主に、訴訟関連の供託金の返還に伴う資金の回収により現預金の増加があった一方で、未払金及び配当金の支払い等があったこと、差入保証金が減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比べ160,932千円増加し、4,732,981千円となりました。これは主に、新サービス開発や独自データベースの増強に伴う無形固定資産及びその他固定資産（長期前払費用）の増加等によるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比べ180,484千円減少し678,703千円となりました。これは主に、解決金の支払による未払金の減少、短期借入金の返済等によるものであります。固定負債は58,977千円増加し356,876千円となりました。これは主に、その他固定負債（繰延税金負債）の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ170,005千円増加し、6,152,181千円となりました。また、自己資本比率は84.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想に対する当中間連結会計期間の進捗といたしましては、主力事業の採算が改善されたこと、その他ビジネスのBPOサービス事業が順調に推移したことにより、全体では堅調に推移しております。

また、業績予想の営業利益率約10%の目標に対して、当中間連結会計期間は9.4%の進捗です。今後も、与信管理サービス、コンプライアンス領域における新サービス開発とデータ基盤の強化を通じ、持続的な収益性向上を目指してまいります。

なお、当社は、2025年9月19日をもちまして創立25周年を迎えたことを記念するとともに、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表しまして、2026年3月期の期末配当におきまして、1株当たり普通配当15.0円に、0.5円の増配及び0.5円の記念配当を加えて実施させていただくことといたしました。

これにより、2026年3月期の1株当たりの期末配当予想は、普通配当と記念配当を合わせた16.0円となり、当初の予定に比べ1.0円増額となる予定であります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益
2026年3月期予想	3,900	380	380	210
2026年3月期 中間期実績	1,890	176	185	127
進捗率(%)	48.5	46.5	48.9	60.9

この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、市場環境の変化や業績の推移等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,225,736	1,810,234
受取手形、売掛金及び契約資産	460,340	533,442
原材料及び貯蔵品	10,287	10,221
差入保証金	740,000	—
その他	142,559	103,564
貸倒引当金	△11,711	△2,683
流動資産合計	2,567,213	2,454,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	588,914	588,932
減価償却累計額	△214,750	△223,066
建物及び構築物(純額)	374,163	365,866
工具、器具及び備品	306,074	310,011
減価償却累計額	△253,391	△238,783
工具、器具及び備品(純額)	52,682	71,227
土地	568,352	568,352
リース資産	16,866	19,591
減価償却累計額	△6,313	△8,000
リース資産(純額)	10,552	11,590
有形固定資産合計	1,005,751	1,017,037
無形固定資産		
のれん	62,764	57,853
ソフトウェア	1,096,263	1,171,552
コンテンツ資産	786,622	853,507
その他	92,597	68,654
無形固定資産合計	2,038,248	2,151,568
投資その他の資産		
投資有価証券	1,387,142	1,361,328
その他	141,349	206,390
貸倒引当金	△442	△3,342
投資その他の資産合計	1,528,049	1,564,376
固定資産合計	4,572,049	4,732,981
資産合計	7,139,262	7,187,760

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	315,754	242,071
短期借入金	350,100	233,400
未払法人税等	40,947	43,322
賞与引当金	3,511	3,125
その他	148,874	156,783
流動負債合計	859,188	678,703
固定負債		
退職給付に係る負債	30,734	28,668
その他の引当金	18,257	17,621
その他	248,906	310,586
固定負債合計	297,898	356,876
負債合計	1,157,086	1,035,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,188,168	1,188,168
資本剰余金	813,643	805,243
利益剰余金	3,196,694	3,212,637
自己株式	△96,562	△12,862
株主資本合計	5,101,944	5,193,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	757,236	831,643
為替換算調整勘定	22,639	22,689
その他の包括利益累計額合計	779,876	854,333
新株予約権	5,593	8,519
非支配株主持分	94,760	96,141
純資産合計	5,982,175	6,152,181
負債純資産合計	7,139,262	7,187,760

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,852,141	1,890,892
売上原価	1,000,240	1,012,878
売上総利益	851,900	878,014
販売費及び一般管理費	733,302	701,132
営業利益	118,597	176,881
営業外収益		
受取利息	159	1,501
受取配当金	11,020	12,040
投資事業組合運用益	1,804	3,621
その他	1,951	821
営業外収益合計	14,936	17,985
営業外費用		
支払利息	441	1,792
支払手数料	8,823	2,244
貸倒引当金繰入額	—	3,500
その他	1,417	1,662
営業外費用合計	10,682	9,200
経常利益	122,851	185,666
特別利益		
投資有価証券売却益	—	9,435
特別利益合計	—	9,435
特別損失		
固定資産除却損	34	16
訴訟関連損失	1,258,211	—
投資有価証券売却損	—	5,112
特別損失合計	1,258,245	5,129
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△1,135,394	189,973
法人税、住民税及び事業税	36,417	37,171
法人税等調整額	10,890	23,485
法人税等合計	47,308	60,656
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,182,702	129,317
非支配株主に帰属する中間純利益	7,830	1,419
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△1,190,532	127,897

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,182,702	129,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	214,293	74,352
為替換算調整勘定	△3,067	65
その他の包括利益合計	211,225	74,417
中間包括利益	△971,476	203,734
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△978,591	202,353
非支配株主に係る中間包括利益	7,114	1,381

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	1,105,850千円	1,810,234千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△100,000	△100,000
現金及び現金同等物	1,005,850	1,710,234

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 （注） 1	合計	調整額 （注） 2	中間連結 損益計算書 計上額 （注） 3
	法人会員向けビジネス			B P O サービス	計				
	与信管理 サービス	ビジネス ポータルサ イト（グル ープウェア サービス 等）	教育関連						
売上高									
A S P ・ クラウド サービス	779, 548	281, 048	-	-	1, 060, 596	-	1, 060, 596	-	1, 060, 596
コンサルティング サービス	199, 237	-	-	-	199, 237	-	199, 237	-	199, 237
その他	-	15, 592	108, 487	398, 172	522, 252	70, 055	592, 307	-	592, 307
顧客との契約から 生じる収益	978, 785	296, 640	108, 487	398, 172	1, 782, 086	70, 055	1, 852, 141	-	1, 852, 141
外部顧客への売上高	978, 785	296, 640	108, 487	398, 172	1, 782, 086	70, 055	1, 852, 141	-	1, 852, 141
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1, 362	1, 876	2, 921	73, 545	79, 706	121, 971	201, 678	△201, 678	-
計	980, 148	298, 517	111, 409	471, 717	1, 861, 792	192, 027	2, 053, 819	△201, 678	1, 852, 141
セグメント利益	119, 251	100, 079	16, 663	824	236, 818	5, 373	242, 192	△123, 594	118, 597

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人会員向けビジネス			B P O サービス	計				
	与信管理 サービス	ビジネス ポータルサ イト（グル ープウェア サービス 等)	教育関連						
売上高									
A S P ・ クラウド サービス	787, 969	293, 735	-	-	1, 081, 705	-	1, 081, 705	-	1, 081, 705
コンサルティング サービス	194, 853	-	-	-	194, 853	-	194, 853	-	194, 853
その他	-	16, 510	89, 983	426, 280	532, 774	81, 559	614, 333	-	614, 333
顧客との契約から 生じる収益	982, 823	310, 246	89, 983	426, 280	1, 809, 333	81, 559	1, 890, 892	-	1, 890, 892
外部顧客への売上高	982, 823	310, 246	89, 983	426, 280	1, 809, 333	81, 559	1, 890, 892	-	1, 890, 892
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1, 227	1, 884	2, 848	82, 314	88, 274	98, 809	187, 083	△187, 083	-
計	984, 051	312, 130	92, 831	508, 594	1, 897, 608	180, 368	2, 077, 976	△187, 083	1, 890, 892
セグメント利益	172, 786	92, 995	4, 380	11, 811	281, 974	5, 295	287, 269	△110, 387	176, 881

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	△268,463	1,141,750
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△656,092	△324,313
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	209,151	△231,873
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,507	△1,065
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△716,912	584,497
現金及び現金同等物の期首残高	1,722,763	1,125,736
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,005,850	1,710,234

前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前中間純損失 △1,135,394 減価償却費 370,848 売上債権の増加額 △48,519 訴訟損失引当金の増加額 1,254,456 供託金の預入による支出 △740,000 法人税等の支払額 △42,093 ※2 無形固定資産の取得による支出 △447,232 定期預金の預入による支出 △100,000 投資有価証券の取得による支出 △99,804 ※3 配当金の支払額 △110,370 短期借入金の純増加額 350,100 長期借入金の返済による支出 △30,160	主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前中間純利益 189,973 減価償却費 352,905 売上債権の増加額 △72,623 供託金の返還による収入 740,000 訴訟関連損失の支払額 △109,128 法人税等の支払額 △32,377 法人税等の還付額 31,904 ※2 無形固定資産の取得による支出 △454,071 定期預金の払戻による収入 100,000 定期預金の預入による支出 △100,000 投資有価証券の売却による収入 125,434 ※3 配当金の支払額 △112,026 短期借入金の返済による支出 △116,700